

GS NOROCON Oil

工場・船舶の
あぶら他

Gs-lab.

業務用

機械油/工業オイル/食品関連 油の除去

様々な油汚れを分解

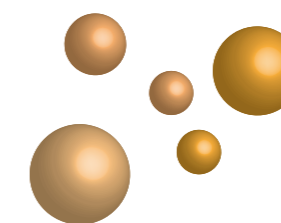
化学薬品を通して世の中がもっと便利になる。それってすごいこと。

特殊洗剤 NOROCON シリーズ —— 狙った汚れを洗剤で取り除く ——

床に染み込んだ油 (Oil)、これなら落とせます。汚れても安心

あきらめていた床の汚れ、綺麗にしませんか？

これまでの洗剤、浸透性が足りていませんでした。



用途

- ①建物の内外の油汚れ全般
- ②工場内の床や設備機器の油の除去
- ③厨房設備やレンジフード、ヤニ等

特長

- ・油の固着を溶解します。
- ・泡立ちを抑えた低泡性の洗剤です。
- ・汚れの元に素早く浸透し強力洗浄します。

主な成分

非イオン系界面活性剤 アルカリ性

*銅、アルミ、亜鉛素材の使用の場合には必ずテストをおこなう事をお勧め致します。業務用の為、ご使用前に必ず安全データシート(SDS)を確認し、よく理解した上で使用を開始して下さい。

Product Details

業務用 4 Kg

製品有効期限：未開封冷暗所保管で購入より 180 日

*使用量は基材や除去対象の状態により異なります

設計価格 (List price) : 4Kg

003

NOROCON OIL

使用方法

一般的な使用方法の説明となります

洗剤液は水にて濃度調整したものを使用します。

*施工する前に必ずテストをして素材への影響の有無を確認後施工をはじめますはじめます。(アルミ素材は要注意)

- ①本剤を2倍～10倍程度に水で希釈する。
*汚れの状況に合わせて適切に希釈する。
- ②化学繊維100%の刷毛またはナイロンブラシ、スポンジでこすように汚れ部分に塗布。
*ウエス側に洗剤をつける方法も好ましい。
- ③汚れの程度に応じて1～10分程度おいてからナイロンタワシやメラミンスポンジで軽くブラッシングを行う。
*床面に関してはポリッシャー等を使用するのが好ましい。
- ④汚れを浮かせた後水で洗い流すか、ウエスやスポンジで洗剤成分が残らないように十分な水拭きも行い乾燥させる。
*床面に関しては汚水をバキューム等で吸い取り、水洗浄をおこなう。
*水拭きにより分解した汚れを除去、拭き筋をなくす。

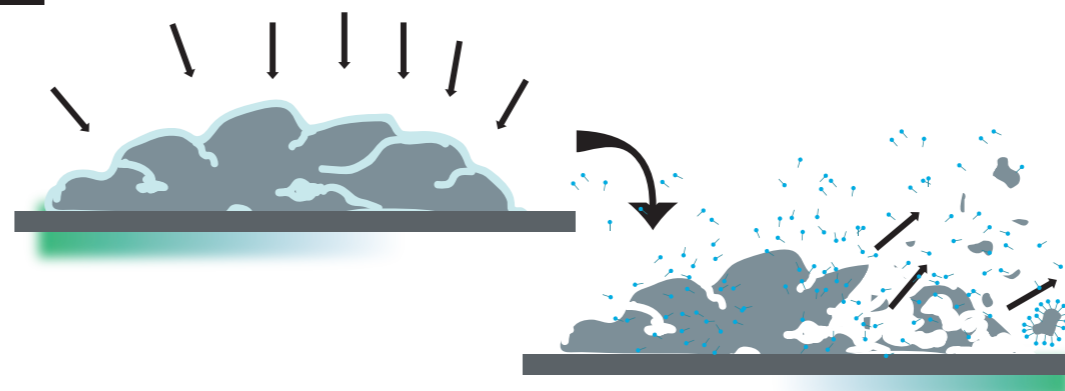
----- 希釈倍率の目安 -----

工場等の床面の油	(原液～3倍程度)
設備機器や厨房周り	(2倍～5倍程度)
日々のメンテナンス	(10倍程度)

使用上の注意

アルカリ性

- 強塩基性の為、酸性洗剤とは混ぜないで下さい。
- ・他の洗剤と混合使用や併用をしないでください。
- ・天然樹脂の溶解性にも優れている為、コーティングされた家具等への使用を避けて下さい。
- ・可能な限りよく換気をして下さい。
- ・使用に際しては、保護手袋・防護メガネ・防毒マスク (*防護マスク不可)
- ・長袖シャツ等を着用し、目や皮膚に付着しないよう防護処置をして下さい。万が一付着してしまった場合には直ぐに水洗いをして下さい。



- ・使用した機材は直ぐに洗浄して洗剤を残さないようにして下さい。本剤を塗布したまま長時間放置すると変色する恐れがあります。
- ・使用する機材はアルカリ洗剤と酸性洗剤とを区別して下さい。
- ・繊維製品等に付着すると色落ちや素材自体が痛む場合があります。
- ・刷毛は化繊刷毛、容器はプラスチック製を使用して下さい。
(*獣毛刷毛、金属容器不可)
- ・施工部分以外に本剤が付着しないように注意し、付着してしまった場合には放置せずすぐに水洗いをしてください。
- ・一度小分けしたものを、希釈液は元の容器に戻さないで下さい。
- ・洗浄後の水は排水に十分注意の上、大量の水 (10倍程度の水が目安) で流して下さい。

液剤の安全性

主成分は非イオン系の界面活性剤で、強アルカリ性の濃縮タイプの洗剤です。取り扱いにつきましては使用上の注意事項を守ってご使用下さい。酸性洗剤との同時使用は出来ません。酸性洗剤の成分がアルカリと反応して有毒ガスを発生する恐れがございますのでご注意ください。

洗浄対象物質への浸透 ⇒ 湿潤化 ⇒ 分解・分散

再付着を防止しあぶらを分解・分散します。

洗浄対象物質への浸透 ⇒ 湿潤化

NOROCON - bits of information:

あぶら(oil,油)って？

私たちの周りの、あぶらと呼ばれるものには実に様々な種類が存在しています。大きく大別して下記のようなものが挙げられます。

- 動植物性油脂類
/ ゴマ油、コーン油、綿実油、パーム油、ヤシ油、ラード等々
一般的に、動物性油→飽和脂肪酸 植物性油→不飽和脂肪酸が多い
- 鉱物油類
/ 燃料油等 (ガソリン、灯油、軽油、A重油、B重油、C重油)
/ 潤滑油等 (ミッションオイル、エンジンオイル、機械油)
/ その他、切削油、研削油等

より効果的な洗浄ってなんだ？

- 化学反応の多くは、高い温度により分子運動がより活発になり速い反応速度を示します。これは洗浄においても同じ事が言えます。洗浄対象物質と有効成分の分子間接触が増える事で、分解速度が上がる傾向を示します。同時に、高い温度によってより多くの分子が振動する事で、各々の分子を分かれさせる働きも期待できます。
- 攪拌あるいは循環させる事は、洗浄プロセスにおいて有効に寄与します。まだ消費されていない洗浄成分が洗浄対象物質とコンスタントに接触、入り込みやすく常に補充される事になります。用途によって (壁や天井等) は、粘着性のあるジェル状 (または泡状) の添加剤が必要な場合がありますが、一般的な欠点として、ジェル状中の洗浄対象物質の表面に最も近い活発な洗浄成分のみ消費され余剰分の洗浄成分とあまり入れ替わることが無いままに飽和してしまいます。
- これらの欠点は、機械的な手段、もしくは物理的にブラシ等を使用したり、高圧洗浄を併用する事により理め合わせをする必要があります。

*温度と機械的な循環、物理的な攪拌と摩擦が分解速度を上げる。

必要に応じて、実検体でのラボ試験を実施致します (要相談) info@norocon.net

販売代理店: